

公表：令和 3 年 3 月 22 日
古屋)

事業所名：ひまわりABA教室（発達療育

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		・密集しすぎないようにしている。(はい)
	2	職員の配置数は適切であるか	7		・児発管をのぞいて5人以上(はい)
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		・PECS、スケジュール等視覚的な支援ツールを使用し、利用者の障がい特性に配慮している。(はい) ・物の位置が分かりやすいように整理整頓なされている。(はい)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		・毎日清掃している(はい) ・アルコール消毒液常備(はい) ・活動スペースを広くとっている。(はい)
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		・常に利用者について情報共有が行われている(はい) ・療育の結果や効果を踏まえて目標設定を随時行っている(はい) ・社内ミーティングあり。(はい)
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		・都度SVからのフィードバックを受けることができる(はい) ・OJT(日々の業務におけるSVシニアセラピストからのトレーニング)(はい)
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		・必要に応じて家庭訪問(家族支援)、保育園・幼稚園への訪問(地域支援)を行う(はい)
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		・データを取って確認している(はい)
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・毎月チームで立案し、ミーティングで周知している(はい) ・毎回ミーティングしている。(はい)
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・月々の季節の行事や子どものスキルに応じた活動を用意している(はい)
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		・個々のターゲットを、集団でも練習するように毎月のプログラムが組まれている(はい)
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・役割のシフトに加えて、高頻度のコミュニケーションが行われている(はい)
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・必ずデータが個別に取られて、支援の改善に役立っている(はい)
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・6ヶ月に1度モニタリング実施(はい)	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		・目標作成時、更新時に担当者会議が行われる(はい)
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	・園への訪問、相談機関への連絡(はい) ・積極的に関係を形成していくと良いと思われる。(いいえ)
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・必要に応じて行っている(はい)
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・必要に応じて行っている(はい)
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	6	・コロナ禍のため自粛している(いいえ) ・必要に応じて電話での連携を行っている(はい)
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		7	
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	1	・協議会に参加している(はい)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・随時(はい) ・保護者は普段から気軽に子どものことを相談する雰囲気を作っている。(はい)
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7		・保護者がスタッフの子どもへの対応を直接見ており、慣れてきたら保護者も指導に参加する。スタッフはそれに助言をしたり、家庭での悩みの相談に応じる。(はい) ・毎月どのように日々の生活の中で子どものスキルを教えていけるのか、指導を行っている。(はい) ・保護者と子どもの状況について共有し、必要な支援を行っている。(はい)
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・契約時に行く(はい) ・初回利用時に説明。その他、適宜必要時に説明。(はい)
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		・個別支援計画を作成し、保護者に説明して同意を得ている(はい)
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・毎月の保護者へのガイダンス時に、悩み等の聞き取りも行っている。(はい) ・子どもが利用時に、保護者ともお話する時間が充分にある。(はい)
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	・父母の会はないが、基本的に子どもと一緒に保護者も参加する形のサービスのため、保護者同士の連携がとれている。(はい) ・保護者同士の連携を支援している。(はい)
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・毎月課題シートを作成し、説明した後に渡している。(はい)
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		・鍵のかかるキャビネットに収納されている。(はい)
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7	
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		・マニュアルあり。(はい)
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・毎月の避難訓練(はい)
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		・初回契約時に問診票等で既往歴について確認する。(はい)
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・虐待防止マニュアルあり。(はい) ・社内研修あり。(はい)
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		・自傷他害の可能性があり、安全なスペースの確保だけでは安全性が確保できないと判断される場合に限り、身体拘束を行う。(はい)

公表：令和 2 年 3 月 23 日
名古屋)

事業所名：ひまわりABA教室（発達療育レンテ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3			・人数が多い日は狭く感じる。(どちらともいえない)
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12				・国際資格を持った先生がいて、信頼しています。(はい)
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12				いつも清潔にいただいています。(はい)
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	11	1			・客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1		2	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1			・その日の子どもの調子に合わせて支援してくれる。(はい)
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	12				・毎月、その月に合った課題がある。(はい)
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		5	6	・ひまわりではなく別で保育園に通っているので、そういう意味では「はい」(わからない) ・保育園に行っているの、求めています。(いいえ)
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				・契約のときに説明があった。(はい)	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11	1				

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	9	1	1	1	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	1			・困ったことはいつでも相談できて、良いアドバイスをくれる。(はい)
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	5	4	・保護者会はないが、いつでも話せる。(いいえ)
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11			1	いつでも相談に乗って頂け、相談内容については、すぐに解決案を出して頂けます。(はい)
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	1	3		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10			2	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12				
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2			・とても楽しみにしています。(はい) ・楽しみにしている。ひまわりに行くとニコニコしている。(はい)
	23	事業所の支援に満足しているか	12				